

## 大型クルーズ客船の寄港特性に関する一考察

金沢大学大学院 学生会員 ○松田 耕司  
 金沢大学 正会員 藤生 慎  
 金沢大学 フェロー 高山 純一  
 金沢大学 正会員 中山 晶一郎

## 1. はじめに

世界中でクルーズ船の寄港回数が増加しており、日本へのクルーズ船の寄港回数も増加している。2010年から2015年の我が国港湾へのクルーズ船の寄港回数を図-1に示す。2015年には過去最高の965回であり、日本船社も含めると1,452回であった<sup>1)</sup>。また、2016年1月から10月までの我が国へのクルーズ船寄港回数を図-2に示す。2016年1月から10月までの我が国へのクルーズ船寄港回数は1,801回であり、既に前年を上回る寄港回数となっている<sup>2)</sup>。

日本では今後、クルーズ観光旅客が観光業に与える影響は決して無視できない状況であり、まずはクルーズ観光市場の実態把握が必須である。また、寄港地の特性を解明し、寄港が多く予測される港湾の整備をしていくことが必要である。そこで本研究では大型クルーズ船の寄港実態の把握をし、どのような港にどのような船が寄港するのか、寄港回数に関する港同士の関連度といった港の寄港特性について分析を行った。

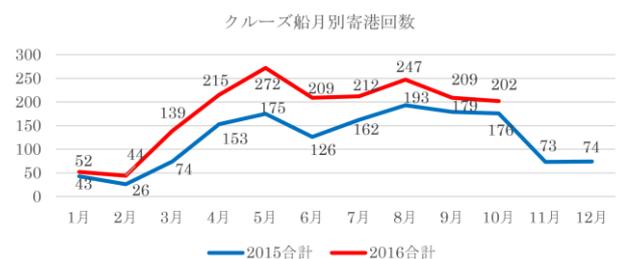
## 2. 既往研究

クルーズ旅客の観光行動に関する研究では、藤生ら<sup>3) 4)</sup>によって、平成26年度に金沢港に来航したクルーズ乗船客を対象として、アンケート調査やGPSロガー・小型カメラを用いた調査がされており、それらの分析が行われている。しかし、旅客といった需要側視点の研究が多くされているが、クルーズ船を誘致している行政やクルーズ船社など供給側の研究はほとんどされていない。また川崎ら<sup>5)</sup>によって、内航クルーズ船の寄港パターン分析がされている。株式会社海事プレス社発行の「CRUISE」に記載されている内航クルーズのデータから、距離が長い寄港地間では選択確率が低いことを明らかにしている。

本研究では、需要側視点ではなく、行政が公開しているクルーズ船入港予定表から実態把握を行い、寄港回数の視点から港の特性を分析することを目的とする。

## 3. 2016年のクルーズ船の寄港データ

各都道府県の自治体は、クルーズ船の入港予定を公開している。調査した対象の港は、過去3年間で寄港回数の合計が20回を超えている32港のうち28港（小樽、函館、杓形、室蘭、釧路、青森、秋田、東京、横浜、金沢、清水、名古屋、舞鶴、大阪、神戸、新宮、境、宇野、広島、下関、高知、博多、長崎、佐

図-1 我が国港湾へのクルーズ船の寄港回数<sup>1)</sup>図-2 2016年1月から10月までの寄港回数<sup>2)</sup>

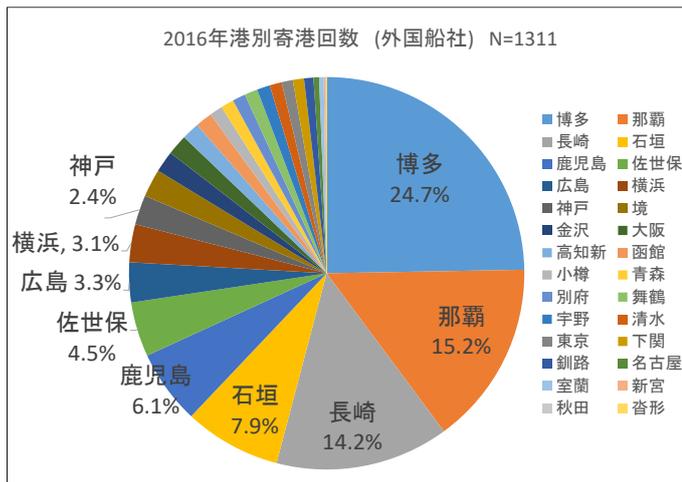


図-3 2016年港別外国船社寄港予定回数

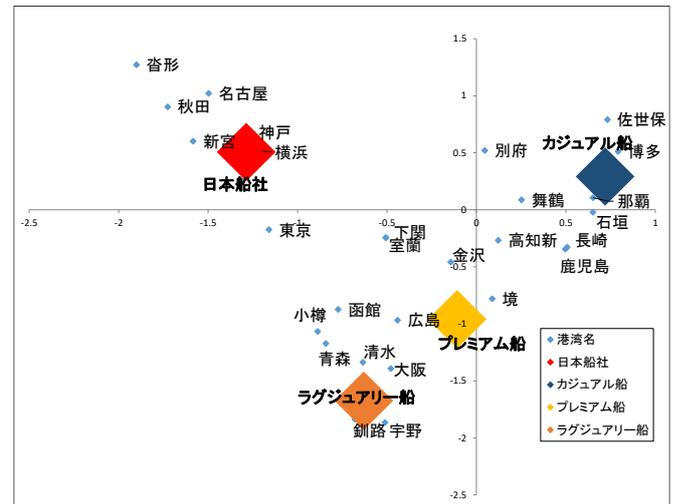


図-4 港ごとの2016年のクラス別寄港回数

世保, 別府, 鹿児島, 那覇, 石垣) とした。

公開されている2016年入港予定表から船ごとの寄港回数を調査し、海事プレス社が出版している「クルーズシップ・コレクション」を用いて、「カジュアル船」、「プレミアム船」、「ラグジュアリー船」に分類し分析した。また、港ごとの2016年のクラス別寄港回数のクロス集計結果からコレスポネンス分析をし、港の寄港特性について分析を行った。

#### 4. 2016年の寄港データを用いたクラス別寄港特性

2016年港別外国船社寄港予定回数を図-3に示す。港ごとの2016年のクラス別寄港回数のコレスポネンス分析の結果を図-4に示す。図-4から、カジュアル船が寄港する傾向にある港は、博多港、那覇港、石垣港、長崎港、佐世保港など寄港回数が多い港となっていることがわかる。プレミアム船が寄港する傾向にある港は、広島港や境港であることがわかる。ラグジュアリー船が寄港する傾向にある港は、釧路港や大阪港であるとわかる。日本船社が寄港する傾向にある港は、横浜港、神戸港であることがわかる。

#### 5. まとめと今後の課題

過去3年間で寄港回数が多かった港の2016年の入港予定回数を調査した結果、博多港への寄港が最も多いことがわかった。また港ごとの2016年のクラス別寄港回数のコレスポネンス分析の結果から、カジュアル船が寄港する傾向にある港は、博多港など寄港回数が多い港となっていることがわかった。

今後の課題として、港の諸元データからクルーズ船が寄港する港の特性について分析を行っていく必要があるといえる。

#### 参考文献

- 国土交通省 2015年のクルーズ船の寄港実績等について (速報値)  
[http://www.mlit.go.jp/report/press/port04\\_hh\\_000130.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/port04_hh_000130.html) 平成28年2月20日閲覧
- 国土交通省 2016年10月までのクルーズ船寄港回数 <http://www.mlit.go.jp/common/001145887.pdf>  
平成28年11月20日閲覧
- 藤生ら：クルーズ旅客のリピーター観光要因の分析, 日本クルーズ&フェリー学会論文集, 2015
- 藤生ら：ライフログカメラ・GPS ロガーを用いた観光行動分析, 日本クルーズ&フェリー学会論文集, 2015
- 川崎ら：内航クルーズ船の寄港パターン分析, 日本大学理工学部社会交通工学科卒業論文概要集, 2014